

学校・家庭・地域が今、ひとつになる時

～つながろう、つないでいこう美保南～

所在地：鳥取県鳥取市
全校児童数：568名

学校の特徴

昭和62年に校区編成によって誕生した小学校で、古くから暮らす住民と新たに転入して来た住民で暮らす地区であり、時代と向き合いながら地域との関わりを構築し、地域の方に教わる伝承体験が恒例事業として定着している。

地域の特徴

鳥取駅の南東約2kmの所に位置し、千代川や田畑に囲まれた校区であるが、中央を国道が通り、新しくバイパスができたことによって、周辺では大型店の進出や宅地化が急激に進んでいる。

活動内容

特徴的な活動

子どもたち、地域住民の心に『地域への愛着、誇り』を深めていく取組

創立30周年記念おむすびギネス世界記録挑戦・達成

【開催時期】平成28年10月16日

「同時におむすびを握る世界最多人数」1個100g以上のおむすびを一齐に5分以内に握る人数の世界記録に挑戦



実施内容

お米と梅干し

本校在校生、保護者、教職員、地域、卒業生1436名が一丸となって挑んだ。

創立時に植えられた「梅」を使い、地域の方の協力を得て、毎年、梅干し作りをしている。また、地域の田んぼをお借りし、学校支援ボランティアの協力を得てお米作り体験学習（H29年度で14年目の取組）でお米を作った。



当日までの取組

- ・実行委員会の立ち上げ
- ・育友会による教職員への説明会
- ・執行部と学校の打合せ
- ・PR活動で参加呼びかけ
- ・学校・地域・警察で当日の交通安全の打合せ
- ・当日の行動配置練習会実施
- ・おむすびチャレンジ週間の取組
- ・学年部がリードして練習し、執行部が審査した。また、親子行事でもおむすび練習に取り組んだ。



費用

運営費以外に高額な申請費用や認定員派遣料が必要であったため、育友会が地域企業へ一軒一軒協賛のお願いに回ったり、クラウドファンディングで呼び掛けたりした。また区長会で地域への協賛も募った。



地域住民と連携した取組

◆「しめ飾り」の継承

地域住民の指導により、地域伝統技術の継承を図っている。



◆こどもかけこみ110番の取組

「美保南地域学校安全委員会」を立ち上げ、付き添い下校や校区内パトロール、「かけこみ110番」の呼びかけを行い、子供たちが安心して通学できる環境づくりを行っている。



◆「美保南地区まちづくり協議会」に参画

地域コミュニティ活動の充実を図る目的で設立した協議会に参画し、さまざまな活動で連携協力を図っている。

組織を育友会と名づけ、執行部定例会(1~2回)、各専門部定例会(学年部、教養部、広報部、体育部、人権部、地域部、交通安全部)で教師を含めた積極的な意見交換が行われている。学校・家庭教育に関わる取組や学校外活動の取組を育友会主導で積極的に行っている。学校に届く会員の意見や要望に対して、スピーディーに対応する検討委員会が設置され、機動的な仕組みもそなえているところが特徴的である。

- 育友会学年活動・・・学年部が中心となり、親子行事を行っている。全員参加をめざし、親子で楽しめる活動内容を企画し、活動後は感想を伝え合い、意見交換をしている。
- サークル活動・・・教養部が中心となり、外部講師を招いたワークショップを開催し、体験を通じた親子の学びを実践している。
- 広報活動・・・育友会広報誌「きらり」を年2回、育友会ニュースを年1回発行している。
- 鳥取市PTA連合会バレーボール大会優勝
- いのちと心の教育参観日開催
- 救命救急講習開催

成果と課題

創立以来、地域と学校は体験活動等を通して学校支援ボランティアの方を中心に結びついている。30周年記念事業のギネス世界記録挑戦では「今ひとつになる時美保南実行委員会」を育友会で立ち上げ、各専門部や地域と連携し、役割分担を行い、1年間の準備作業を経て世界記録挑戦となった。この取組は美保南地区全体の気持ちを一つとし、地域とともにあるコミュニティ・スクールを目指す良い起爆剤となった。今後、保護者と地域の結びつきを強め、学校・保護者・地域の三者が互いに連携していけるような体制、関係づくりをすすめていきたい。